

## Plates


02

映像、写真、オブジェ、テキストなどを用いて、故郷沖縄の社会的・政治的な問題、とりわけセクシュアリティとマイノリティの問題を俎上に載せた作品を多く手掛ける。沖縄で沖縄人男性とアメリカ人男性が恋に落ちることは可能かをテーマに、2012年より継続するミヤギの代表的なプロジェクト「American Boyfriend」は、写真、映像、テキストなどによる一連の作品とブログによって構成されるものだ。小説家としても活動し、「American Boyfriend」プロジェクトを小説化した『ディスタント』（河出書房新社、2019）には、『アメリカの風景』（2017）など中編3作品が収録されている。

本展で発表する新作インスタレーション《物語るには明るい部屋が必要で》（2019 | cat. nos. 2-01-31）は、26点の写真と5点の映像で構成され、それらのほぼ全てが沖縄各地の風景を被写体としている。展示空間内のスピーカーからはふたりの男性の声が聞こえ、彼ら自身の、もしくは家族のセクシュアリティについて語る対話が繰り返し上げられる。ミヤギはこれまでも幾つかの作品において、沖縄人男性とアメリカ人男性（あるいはその家族）との親密な関係を描いてきた。本作でもセクシュアリティと沖縄が主題となっており、映像作品《The Ocean View Resort》（2013）や小説『アメリカの風景』など過去の一連の作品と本作は、同じ系譜に位置づけられる。

ミヤギフトシ  
Futoshi Miyagi

069



都市に固有の生活は、セクシュアリティの主題とともに、ミヤギにとって重要な芸術的創造の靈感源である。ミヤギは沖縄の離島に生まれ、その後、那覇、大阪、東京、ニューヨークなどを転々とした経験をもつ。それぞれの都市での生活は、写真、映像、小説などの作品へ多かれ少なかれ反映されており、ミヤギ個人の実存と経験は彼の作品を強固に支えるものだ。また、ミヤギの作品にはしばしばクラシック音楽が挿入されるが、本作ではベートーヴェンのピアノソナタ第32番が用いられている。映像作品中の音楽は物語の儚さを増幅し情念を喚起する一方で、それを聴く作品の登場人物たちのあいだ、さらには登場人物と作品の観者とのあいだにある、時間と空間を同期する役割を果たしている。



《物語るには明るい部屋が必要で》より

From *In a Well-lit Room: Dialogues Between Two Characters*



2-05 ↗  
Omoromachi #2  
*Omoromachi #2*  
2019

2-02 ↑  
Apartment Building with Red Roof  
*Apartment Building with Red Roof*  
2019

2-04 →  
Omoromachi #1  
*Omoromachi #1*  
2019





2-11  
Family Restaurant, 7th Floor  
*Family Restaurant, 7th Floor*  
2019

2-10  
Lunch for Two  
*Lunch for Two*  
2019



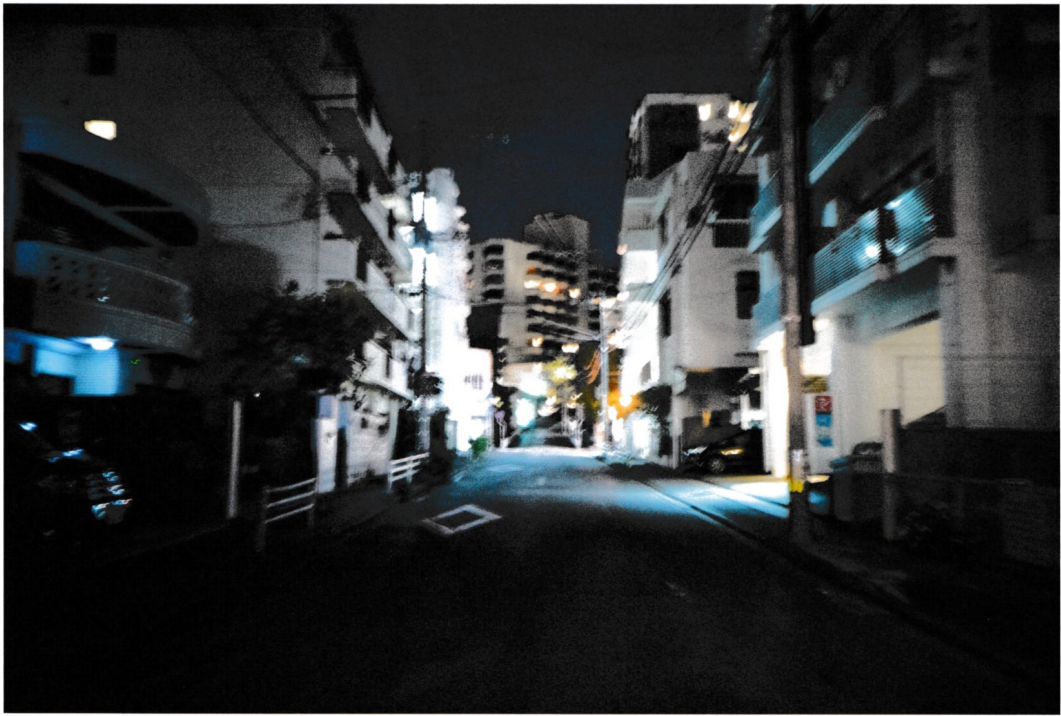


2-15 ↗  
From the Palace on the Hill #2  
*From the Palace on the Hill #2*  
2017/2019

2-16 ↑  
From the Palace on the Hill #1  
*From the Palace on the Hill #1*  
2017/2019

2-14 →  
From the Palace on the Hill #3  
*From the Palace on the Hill #3*  
2017/2019





2-12 ↓  
Midorigaoka Park  
*Midorigaoka Park*  
2017/2019

2-13 →  
Naha Tower, Gone  
*Naha Tower, Gone*  
2017/2019

---

2-03 ↘  
Tomari Crossing  
*Tomari Crossing*  
2017/2019







2-06

Tomari Port at Night #1

*Tomari Port at Night #1*

2019

2-07

Tomari Port at Night #2

*Tomari Port at Night #2*

2019







2-08  
Golden  
*Golden*  
2017/2019



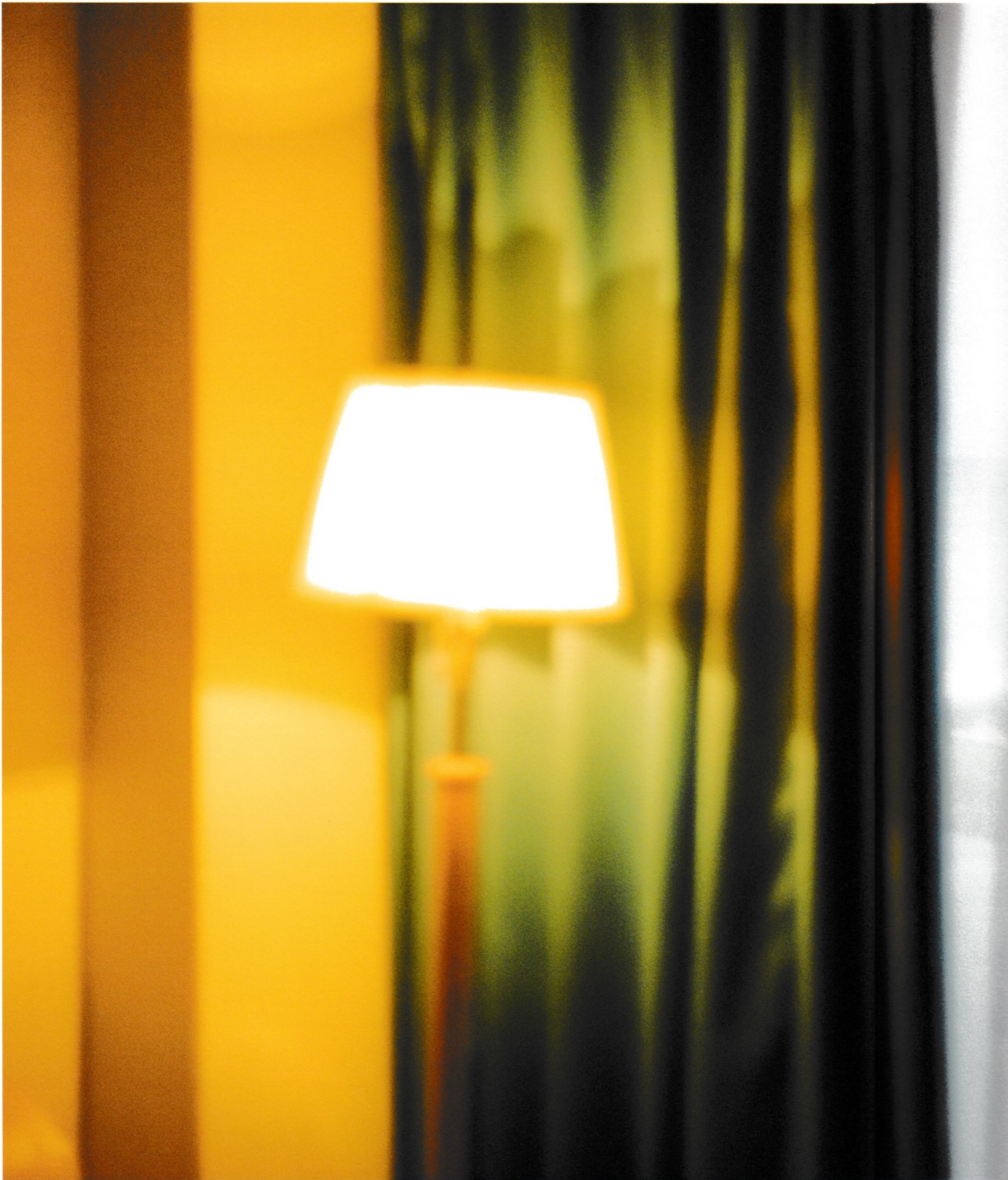


2-22 ←  
Faded Painting  
*Faded Painting*  
2019

2-23 ↓  
The Ocean View Resort (Garden) #1  
*The Ocean View Resort (Garden) #1*  
2019

2-24 ←  
The Ocean View Resort (Garden) #2  
*The Ocean View Resort (Garden) #2*  
2019







2-25  
A Lamp  
*A Lamp*  
2019



2-26  
My Home (Door)  
*My Home (Door)*  
2019

2-27  
On the Way Back to the Ocean View Resort  
*On the Way Back to the Ocean View Resort*  
2019





2-01      2-28  
Clouds    At the Shore  
*Clouds*    *At the Shore*  
2019      2019



ミヤギ  
Futoshi Miyagi

02

Chapter II

Plates







2-17 ↖  
Naminoue Beach #1  
*Naminoue Beach #1*  
2019

2-18 ←  
Naminoue Beach #2  
*Naminoue Beach #2*  
2019

2-19 ↑  
Wakasa Park  
*Wakasa Park*  
2019

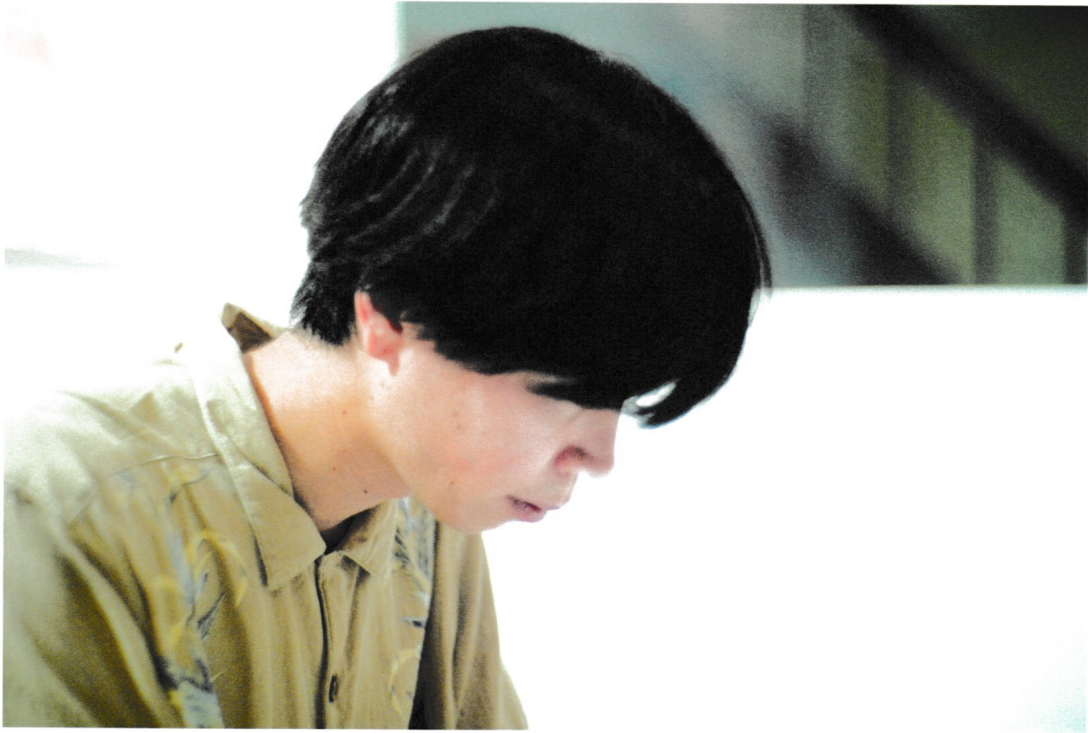




2-20  
To the Airport  
*To the Airport*  
2019







July 3rd, 2019



July 29th, 2019



August 13th, 2019





話して  
いるのは

誰？

Image Narratives  
Literature in Japanese Contemporary Art

現代  
美術に  
潜む  
文学

Image Narratives  
Literature in Japanese Contemporary Art

Image Narratives  
Literature in Japanese Contemporary Art

そして静かに最後の数音が鳴り、レコードが回転する  
ノイズだけがしばらく聞こえて、止まった。この曲を聴  
いていると、いつも終わりに気づかないままに終わって  
るんだ。不思議。葉くんが穏やかに言った。

---

ミヤギトシ『アメリカの風景』(2017年)、  
『ディスタント』河出書房新社、2019年、p.72。

After the last few gentle notes, we listened to the  
record spinning for a while, then it stopped.  
Every time I hear this piece, the music always ends  
before I know it. It's strange, Chris said calmly.

---

Futoshi Miyagi, *Scenes from America* (2017),  
*Distant*, Kawade Shobo Shinsha, 2019, p.72.

『話しているのは誰？現代美術に潜む文学』

2019年9月27日 刊行 P69 - 104